

街の混沌を表現したホテルダイニング

TSUNOHAZU

METROPOLITAN GRILL / 十二颶 / 王朝 / ZATTA

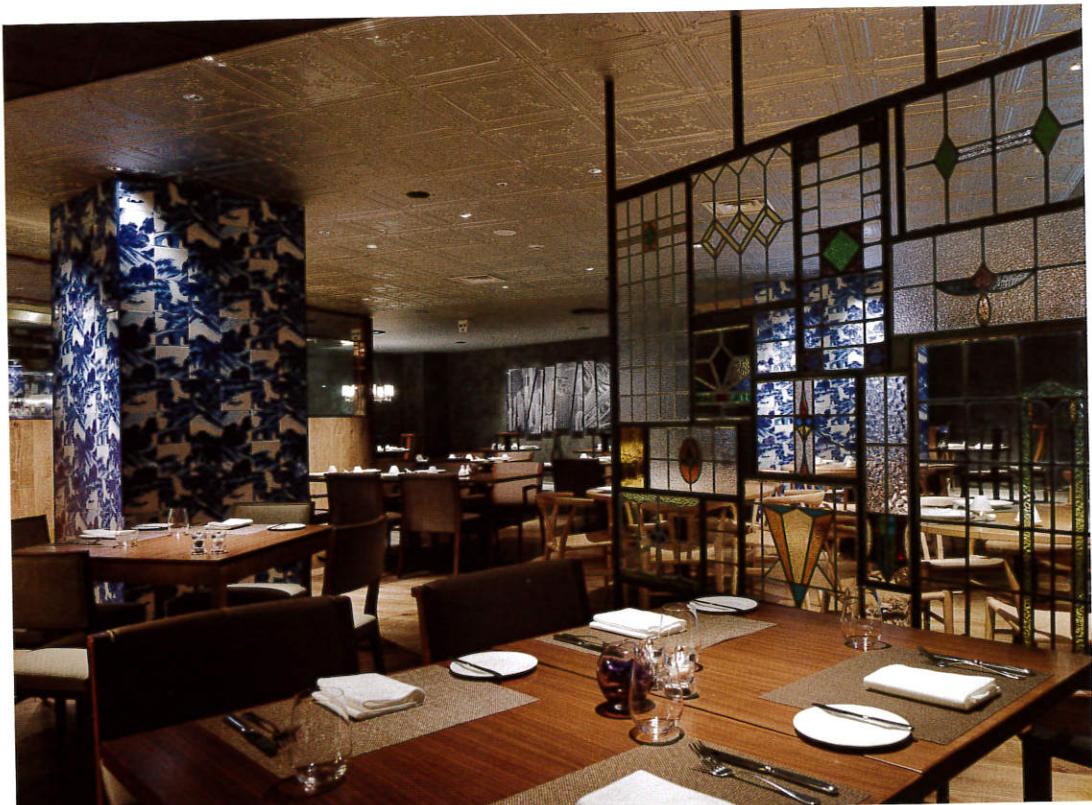
Dinning Floor & Restaurant TSUNOHAZU / METROPOLITAN, GRILL, JUNISOH, DYNASTY, ZATTA, Tokyo
Designer Naoyoshi Taniyama / NAO Taniyama & Associates

設計 / NAO Taniyama & Associates 谷山直義 安保倫 廣瀬敬
協力 / 照明計画 ICE都市環境照明研究所 武石正宣 加藤由子
厨房設計 ループコンサルティング 伊藤芳規 松尾昌武
設備設計 アカデミック 渡邊正人 FFE キニア 高澤宗司 林輝美 島津亮平
施工 / 総合デザイン 中神佳史 田口茂雄 設備 乃村工藝社 田端正行
厨房 タニロー 鈴木達也 和泉博人 高野眞一郎 柴田秀之
撮影 / 佐藤振一



左頁／バー＆ラウンジ「ZATTA（ザタ）」。
メインレセプションを併設し、客はまずこのバーを起点に各エリアにアクセスする
上／LEDのライン照明を配したカウンターはアイキャッチとなり、そのわかりやすさから客同士の待ち合わせ場所としても機能する
下／エレベーター前からバーを見る。
左手奥に見えるのはメインレセプション

中国料理「王朝」のダイニング席。四角形に貼り分けられた床パターンが斜めに貫入し合う平面区画。右手には中国の磁器をモチーフにしたオリジナルタイル



多くの矛盾を孕んだ
未完成だけれどもザラついたもの

「数社によるコンペティションに参加しないか」チャレンジのつもりでヒルトン本社に営業をかけ、戻ってきた返信に社内がざわめいた。これまでにいくつかのホテルブランドのデザインに携わってきたが、ヒルトンは初めてだった。正直、私はヒルトンというブランドにさほど詳しいわけでもなく、このブランドがどのような目的で今回のコンペティションを我々に投げかけてきたのか皆目見当つかない。送られてきた与件を見てもあまりに広大なエリアに圧倒され何も浮かんでこない。「さて……」というところからこのプロジェクトは始まった。

ホテルフリークでもない限り、今を生きる我々の世代にとってのヒルトンとはなんだろうか、生活の中でどんな変化をもたらしてくれるブランドだろうか。批判を恐れず正直に言うのであれば、そこにこれといった具体的なものを感じることはできない。強いて言うなら海外旅行先でちょっと無理をしてアップグレードでヒルトンに泊まるといった感じではないだろうか。ましてや数多くのホテルが建ち並ぶここ西新宿において、現在のヒルトンがどんな発信性を持つて存在しているのか、かなり懐疑的なところではあった。

以前より私はこの西新宿という街に、強い違和感とそれに相反する可能性のようなものを感じ

ていた。既存のイメージに多くの人やものが引きずられ、人々が集う居酒屋やバー、レストランなどは、ビルの上部もしくは地下に封じ込められ、地上はまるで何事もなかったかのようにすまし顔で建つ高層ビル群。私にはそこに日本という顔はなく、「このような街をつくれば先国の仲間入りができる」と信じたであろう先人たちの夢の跡が残骸として鎮座しているだけのように思えた。

変わらなければいけない……。

コンペティションの中で提案したものは与件から大幅にずれていたが、それは初めから分かっていた。しかし最終的に私が行き着いた回答はデザインがどうのこうのということよりも、むしろヒルトンが今、何をやらなければいけないのかということだった。

人々の心を揺さぶるものはなにも感動するものだけではない。多くの矛盾を孕んだ、未完成だけれどもザラついたものこそが今の停滞する日本には必要である。この西新宿から毒を吐き出すことによって、この詰まった血管を再び覚醒させることこそが今やらなければいけないことであり、唯一のコンセプトと成りえる。

「その先陣を切るのがヒルトンであればよい。その前のめりの姿勢はブランドに新たな価値を生み出すと信じている」それがプレゼンテーションで最後に私が語った言葉であり、一番伝えたかったことだった。

〈谷山直義／ナオタニヤマ&アソシエイツ〉

Filled with contradictions
Something incomplete yet bold

We received an offer from Hilton Tokyo to participate in a competition with several companies. We thought about what the Hilton brand is. And then we thought about what Hilton itself should do in Nishi-Shinjuku, which is home to many hotels, to greatly increase the visibility of its brand. I felt both strangeness and possibility in the fact that in Nishi-Shinjuku, izakaya, bars and restaurants are hidden away in the highest floors and basements of buildings while groups of skyscrapers stand in a row inorganically as if nothing were wrong. There is nothing Japanese about that. The dream of our predecessors that if they created an urban area such as this one we would be able to join the ranks of advanced nations is simply left in ruins. The area must be changed. Our submission varied widely from the conditions given. Rather than conforming to the conditions, we made a proposal about what Hilton should do in Nishi-Shinjuku. The design came after that. Something that is merely beautiful cannot stir people's hearts. It is something that is filled with contradictions and incomplete but bold that has great power. Rather than a traditional, well-ordered hotel restaurant floor, what should be created is a place containing energy and bustle equal to that of a confused urban area. That is the sole concept behind this space.

〈Naoyoshi Taniyama〉

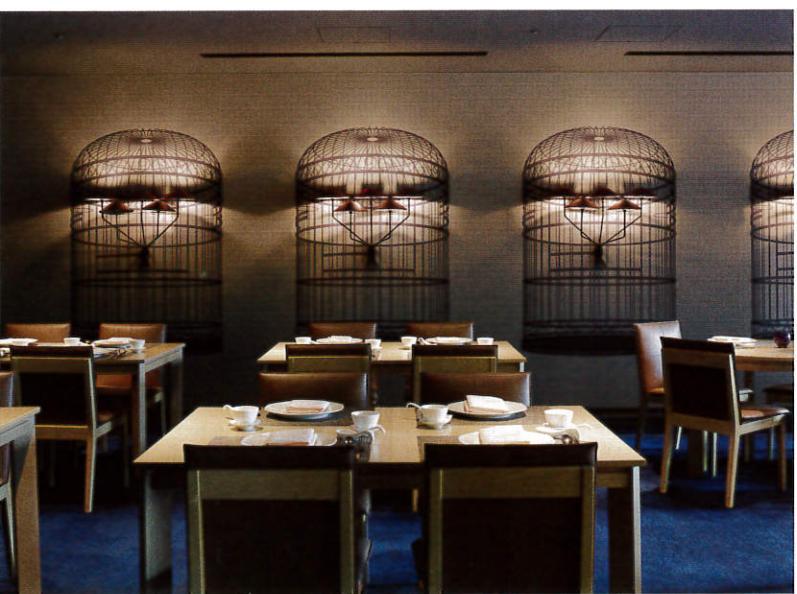


「王朝」のダイニング。右手にはアンティーク風ガラスのパーティション。奥にはハイウェイのジャンクションの写真をランダムに切り取ったアートワーク

「王朝」のサブダイニング。ここでもパーティションや天井のパターンが斜めに貫入し合う



左／天井と床の素材の切り返しが異なることで、ランダム感、カオス感を演出している



右／鳥かごのグラフィックシートとブラケット照明を組み合わせた「王朝」の個室



左／日本料理「十二颶」の寿司カウンター席。白木を基調とした奥のカウンター席に対し、手前のカウンターは石を使用した。右上／古い藍染めの端切れをパッチワークした壁面。通路の奥には吹き抜け越しに中国料理「王朝」が見える。右下／白の漆喰と黒の左官研ぎ出しに塗り分けた個室。左手の壁面には、さまざまな形状のふすまの取手をオブジェのように貼った



「ツノハズ メトロポリタングリル/十二颶/王朝/ザタ」data
所在地: 東京都新宿区西新宿6丁目6-2 ヒルトン東京2階
工事種別: 内装のみ 全面改裝
床面積: 3675 m²
工期: 2014年6月~10月

営業内容

開店: 2014年10月31日
営業時間: メトロポリタングリル/午前11時30分~午後3時(土・日曜日、祝日は午前10時~) 午後5時30分~午後10時30分 十二颶・王朝/午前11時30分~午後3時 午後5時30分~午後10時 ザタ/午前11時~午前1時(木~土曜日、祝日は午前3時まで)
電話: (03) 5324-8039
経営者: ヒルトン東京

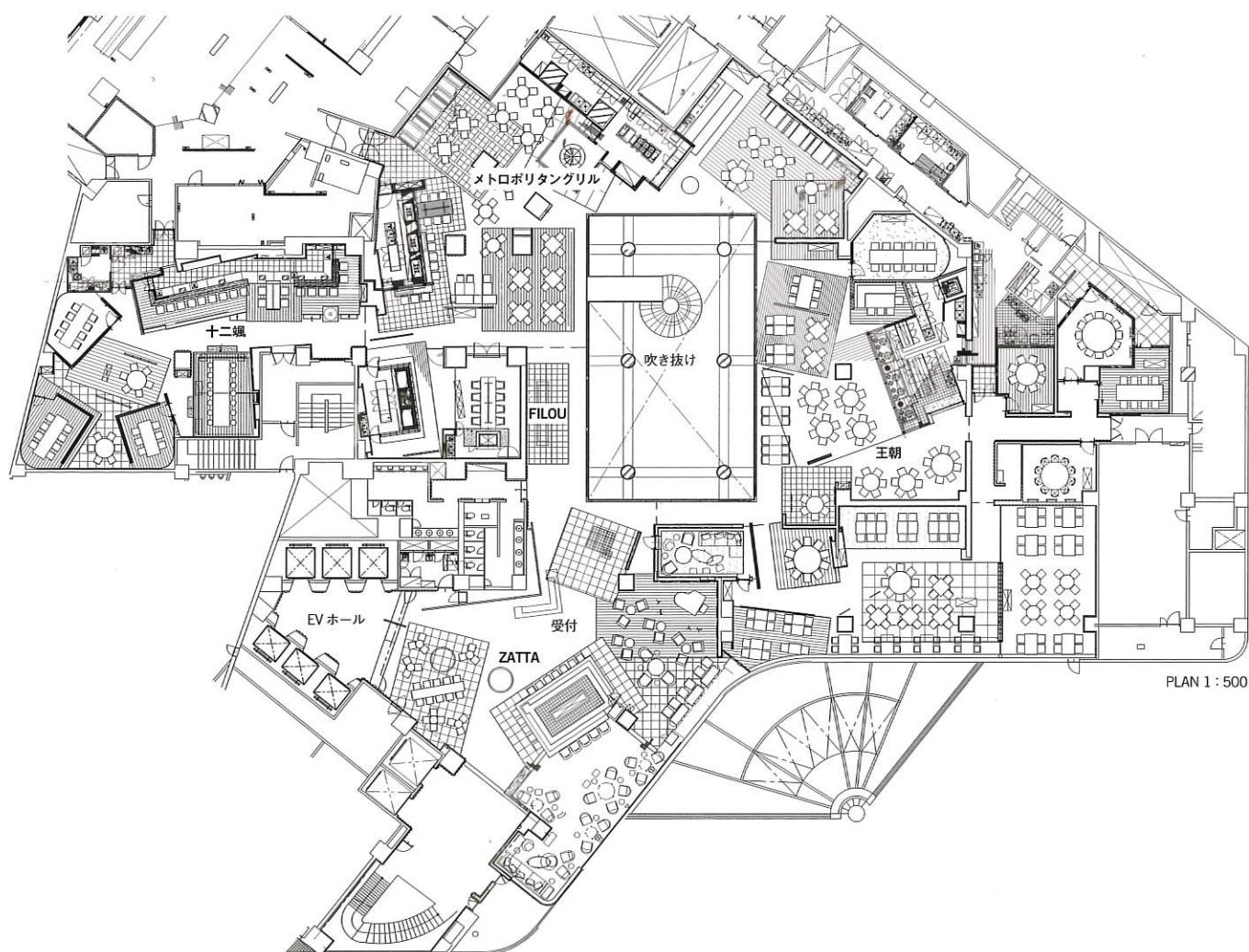
主な仕上げ材料

サイン: LGS組みPBt12.5下地モルタル風仕上げ
床: 磁器質タイル貼り コンクリート洗い出し タモ材(柾目)フローリング貼りウレタンクリア仕上げ ナラ無垢材ウレタンクリア仕上げ 古材フローリング貼り 複合フローリング(モンスターオーク/望造)砥の粉仕上げ 石貼り カーペット敷き
壁: LGS組みPBt12.5下地モルタル風シゴキ仕上げクリア塗装 コンクリート洗い出し 土入り砂漆喰仕上げ 漆喰(黒、赤、白)仕上げ セン材(柾目)突き板ウレタンクリア仕上げ 藍染め古布バッチャワーク貼り スチール黒皮フレーム+古建具 クロス貼り エージング塗装 アンティークレンガ貼り グラフィッククロス貼り 金箔風クロス貼り アンティークガラス 赤さび鉄板貼り 黒檀突き板全ツヤ仕上げ 和紙貼り
天井: PBt12.5下地AEP 無機質エンジニアリングパネル(ダイライド/大建工業)下地ウレタン全ツヤ塗装 ウオールナット材ボーダー貼り ミラー貼り SUSシート貼り クロス貼り ブリキパネル貼り
家具: オールナット、黒壇、マツ染色ウレタンクリア塗装(3分ツヤ)

左頁／「十二颶」の鉄板焼きエリア。格子の建具越しに隣のカウンター席が見える 上／格天井にミラーを貼った同テーブル席 中／中央の円形グリルで調理する様子を見せる「メトロポリタングリル」 下／通路に面したパティスリー「FILOU」



各レストランは1階ロビーラウンジ上の吹抜け周りに配された。通路に対してオープンな客席から、吹抜け越しに他レストランでの食事のシーンが見えるレイアウト



商店建築

SHOTENKENCHIKU MONTHLY MAGAZINE OF STORE DESIGN/INTERIOR/ARCHITECTURE 2015 Vol.60 No.05

5

New Shop & Environment

TSUNOHAZU BLUE BOTTLE COFFEE

Special Feature

3Dテクノロジーによる 新たなクリエーション

Feature Article 1

Boutique & Pop-up Store

Feature Article 2

Clinic